

陶製品（粘土瓦製品）に関するお願いと注意点

■ いぶし瓦素材の取扱注意

- 油類やその他の汚れが付着すると、シミになったり汚れが取れなかったりしますのでご注意ください。
- 養生テープやガムテープなど粘着材を貼り、それらを剥がすと表面の炭素膜が取れて、その部分の色が変わりますのでご注意ください。
- 鉄分を含んだ水がかかると、表面にサビ汚れがでます。この汚れは除去できませんのでご注意ください。
- 表面の炭素膜は傷付きやすいのでご注意ください。

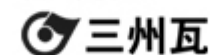
■ 製品に関するお願い（粘土瓦製品の特性について）

- 本製品は陶器製品のため、ネジレや寸法のバラつき、色ムラがあります。
- 粘土瓦製品は経年により変色する場合がありますが、製品本来の品質には全く問題はありません。

▲ 安全に関するご注意

- 工事に不備があると、落下・破損等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦製品を使う場合には、専門業者にご相談下さい。
- 粘土瓦製品で特殊な設計を行う場合は、専門業者にご相談下さい。

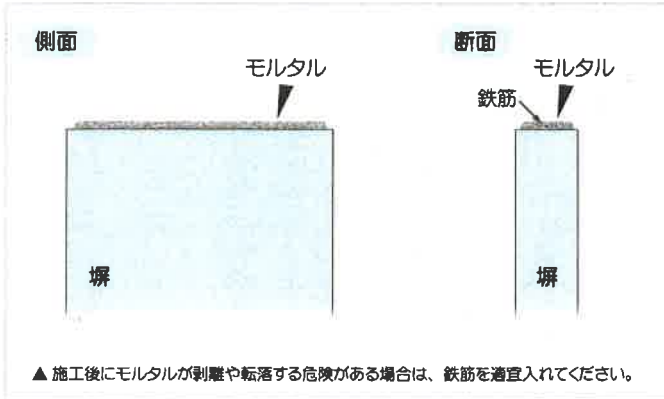
人にやさしい・・・



和風塀瓦 セシ・あすか / たかお / きふね 施工手順

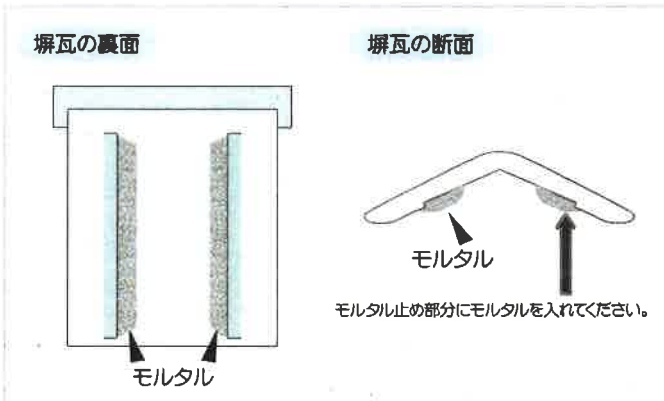
必要枚数の算出

平瓦の必要枚数 = 塀の長さ ÷ 平瓦の動き長さ - 両棧瓦1枚 - とめ瓦2枚



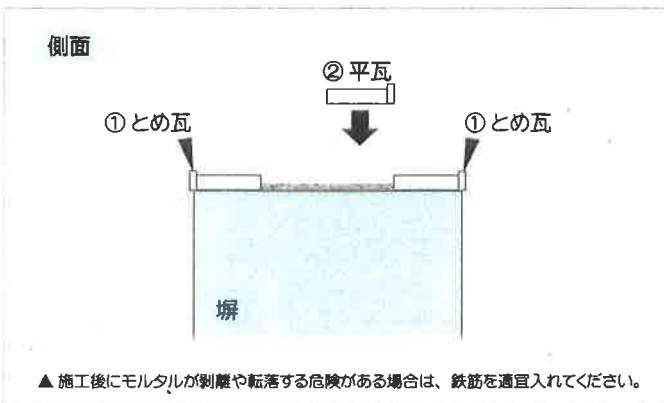
Step-1

- 塀にモルタルを左図のように施工してください。
(速乾性のモルタルは避けてください。)
- (適宜、鉄筋を入れて補強をし、銅線等で止め付けてください。)



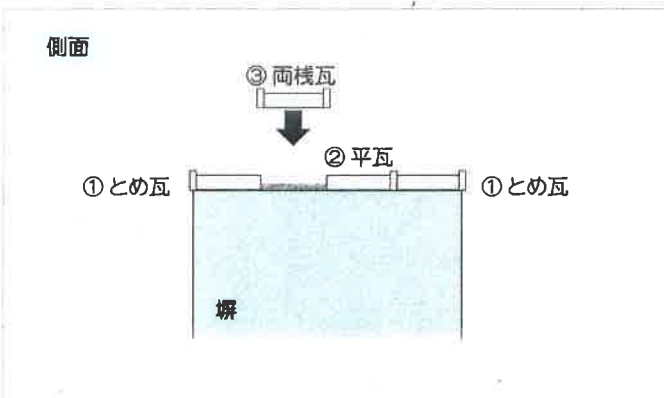
Step-2

- 塀瓦の裏面にモルタルを左図のように入れてください。
 - その際、塀瓦のモルタル止め部分(凹部)にモルタルをしっかり入れてください。
- 【注】「セシ・きふね」は、ビスまたは銅線にて留め付けてください。



Step-3

- 最初に両端の①とめ瓦を施工してください。
- 次に②平瓦を施工してください。
- 施工は、塀瓦を押しつけて、塀のモルタルと塀瓦のモルタルが馴染むようにしてください。



Step-4

- 最後に③両棧瓦を施工してください。

陶製品(粘土瓦製品)に関するお願いと注意点

- 施工時
- 油類やその他の汚れが付着すると、シミになったり汚れが取れなくなったりしますのでご注意ください。
 - 養生テープやガムテープなど粘着剤を貼り、それを剥がすと表面の装飾層が取れて、その部分の色が変わりますのでご注意ください。
 - 鉄分を含んだ水がかかると、表面にサビ汚れがでます。この汚れは除去できませんのでご注意ください。
 - 表面の装飾層は傷付きやすいのでご注意ください。
- 製品に関するお願い(粘土瓦製品の特性について)
- 本製品は陶質製品のため、ネジや寸法のバラつき、色ムラがあります。
 - 粘土瓦製品は経年により変色する場合がありますが、製品本来の品質には全く影響はありません。